


表題 珠洲・自動運転実証実験プロジェクトー日本初の自動走行車による市街地公道走行を実現！ー

政府・産業界の要請


政府方針



主要産業
↓
自動車産業

自動運転技術の開発促進
⇒ 成長戦略として位置付け
2013.5.17安倍総理
「成長戦略第2弾スピーチ」等

産業界の強い要望



自動車産業
↓
周辺関連産業

2020年にはレベル2(部分的自動運転)が500万台。他産業への波及効果や新産業・サービス創出。

国内最先端の金沢大学自動運転システム



- 【自動運転技術開発】**
- 運転知能の高度化 (AI技術開発, 地図整備技術)
 - 国内外各所での実証実験促進
 - 多数の共同研究の促進
- 【自動運転自動車の社会実装】**
- 各種デモへの積極的参画 (政府, 地方行政と連携)
 - 珠洲市での公共交通機関への導入テスト
 - 地域定着に向けたドライバ人材育成 (安全教育済み一般ドライバへの移行)

社会的課題の解決


高齢化社会に対する対応



- 高齢化の進展
- 高齢者事故の顕在化、社会問題化

1,710万人と増加の一途の高齢ドライバー。

過疎地域の「足」の確保



- 過疎により公共交通の担い手も高齢化

身体機能の衰えや運転に不安を持ちつつマイカーを手放せない。

取組概要 市街地走行可能な自動運転知能の構築と、その高齢過疎地域への活用施策の検討。

金沢大学と珠洲市では、車の運転が難しくなった高齢者の移動手段としての活用を目指して、平成27年2月、国内の大学としては初となる自動運転自動車の市街地における公道走行実験を開始し、高度な運転知能の開発を目指して徐々に実験を拡充して来ています。

現在では、さまざまな道路環境・交通状況に即した市内4コースを設定し、実際の市街地・公道を約60kmも用いて実証実験に取り組む事例は、わが国では他に類例のないものとして注目を集めています。

機械工学的な有人運転支援・補助システムの技術開発促進のみならず、交通工学や財政学等の新たな見地も交えた受容性評価などにも取り組み、学際的・総合的に自動運転にかかる研究を行っています。

【ユニットリーダー】
新学術創成研究機構
未来社会創造研究コア
自動運転ユニット
准教授 菅沼直樹



【研究室URL】
<http://its.w3.kanazawa-u.ac.jp/>